

## 協働のまちづくり目指し

### 「みんなでつくる平泉」が設立報告

特定非営利法人「みんなでつくる平泉」の小野寺郁夫代表ら5人が7月22日、菅原町長を訪れ県から受けた正式認可の報告をしました。

同法人は、協働のまちづくりを目指し4月13日に設立総会を行い、法人格の取得に向けて準備を進めてきました。7月5日に設立登記が完了し、正式に発足しました。



設立を報告する小野寺さん(右から3人目)ら同会の皆さん

## 体を動かし元気に活動

### 16区にこにこクラブ

16区にこにこクラブの活動が7月22日、16区公民館で開催されました。同クラブは認知症予防のため、同行政区内の会員が月1回集まり、体を動かしたり、頭や手を使った活動をしています。

この日は、吉野正子さん(11区)を講師に、ペットボトルを使った全身の血行を良くする体操などを行いました。吉野先生は「毎日自分の体を触り、状態を確認することが大切。腰痛などの痛みには、葉ばかりに頼らず温めたり体操をして、自分で良くしていくことも必要」と話していました。



吉野さん指導の下、体操を行う参加者

菅原町長からナンバーの交付を受ける(上)



真新しいナンバーを早速取り付ける(下)

## 新しいナンバーが町内を走る

### 統一デザインのナンバー交付

一関市や奥州市、金ケ崎町と導入を進めてきた原動機付き自転車などの統一デザインナンバープレートの交付が7月1日から開始されました。

9時から行われたナンバープレート交付式には、町民6人が出席。菅原町長から統一デザインのナンバープレートが手渡されると、早速バイクなどに取り付けていました。

交付初日となったこの日は、19人が新ナンバープレートの交付を受けました。



ごみ拾いをする施設利用者とスタッフの皆さん

## 感謝の気持ちを込め

### 黄金荘利用者が奉仕活動

黄金荘(得田和明施設長)の地域清掃活動が7月9日、同施設のある7区内で実施されました。

同活動は地域活動への積極的参加と奉仕活動の喜びを感じ、ふれあいの輪を広げようと毎年開催されています。

この日は、施設利用者12人とスタッフ6人が2組に分かれて作業を開始。約2kmの沿道に落ちているごみを拾い、日ごろお世話になっている地域の人たちへ感謝の気持ちを込めながら清掃活動をしていました。

## 農業体験を通して交流

### 深川第六中グリーン・ツーリズム体験

水かけ神輿を通して交流のある東京都江東区の区立深川第六中学校(加藤光一校長)の3年生74人が7月4日、修学旅行で当町を訪れ農家民泊を体験しました。

同校が当町を訪れたのは、昨年に続き2回目。受け入れ農家18戸の皆さんが出迎えました。生徒たちは、農業体験や民泊などを通じ町民との交流を深めていました。



宿泊先で農作業を行う深川第六中学の生徒

## 平泉文化の理解を深める

### ときめき世界遺産塾

「平泉の文化遺産」への理解をより深め、世界遺産を守り受け継ぐリーダーの育成を目的とした「ときめき世界遺産塾」(塾生34人)がスタートしました。

第1回講座は7月20日に平泉文化遺産センターで開講し、「平泉早わかり授業」の後、中尊寺や観自在王院跡、毛越寺を訪れ、ガイドの解説に耳を傾けながら世界遺産への理解を深めました。

この講座は、県南管内の小学校5・6年生と中学生を対象に、12月まで全6回の予定で行われます。



町内の史跡を巡る参加者



駅前呼び掛けをする推進委員

## 犯罪などのない社会を目指し

### 社会を明るくする運動

7月の社会を明るくする運動強化月間に合わせ、同運動町推進委員会の委員が平泉駅前や各小中学校の校門前であいさつ運動などを行い、事件や犯罪、非行のない明るい社会を呼び掛けました。同運動は、法務省が主唱し今回で63回目を数えます。

委員が、ポケットティッシュなどの啓発品を配りながら「おはようございます」と駅利用者や児童に呼び掛けると、「おはようございます」と元気なあいさつが交わされていました。



元気いっぱい競技する参加者(写真はボール送り競技)

## 元気いっぱいハツラツプレー

### シルバースポーツ大会

いきいきシルバースポーツ大会が6月29日、長島小学校校庭で開催されました。

同大会には、町内の60歳以上の男女約300人が参加。100m競争やボール送り、ゲートボールリレーなど7種目で順位を競いました。

参加者は「まだまだ若い人たちには負けたくない!」と元気いっぱいのハツラツプレーを展開し、楽しい一時を過ごしていました。

大会は長部チーム(14~16区)が優勝、平泉北チーム(1~5区と13区)が準優勝を果たしました。